

発行代表者：菊池敏博 編集代表者：長澤 直 印刷所：(株) アクセア



〒530-0001 大阪市北区梅田 1-3-1-900 大阪駅前第1ビル 9F 岩手県大阪事務所内
【TEL&FAX：06-6344-5969 Web サイト：http://www.iwate-kansai.com/】

第12回三県人会合同納涼ビアパーティ

108名(岩手29名・青森34名・秋田45名)の参加者

2023年7月16日(日)

7月16日(日)アサヒスーパードライ梅田において、北東北三県人会合同納涼ビアパーティが開催されました。

幹事近畿秋田県人会工藤さんによって開会が宣言され、近畿秋田県人会加藤会長、次に近畿青森県人会小宮山会長、その次に関西岩手県人会平野副会長がご挨拶されました。

乾杯は岩手県大阪事務所武藤次長にご発声いただき、生ビールと料理を味わいながら、和やかな懇親会が始まりました。

しばしの歓談の後、余興に移りました。トップは秋田県からフラダンスです。福田さん率いる3名の「ビーチボーイズ」が今回も張り切りました。次に青森から三上さんの民謡と浴衣姿の女性陣による踊り「津軽の花」「河内おとこ節」が披露され、踊りは会場内に広がり、場を盛り上げました。さらに、秋田県から民謡、三味線、尺八、太鼓のそうそうたるプロのメンバーによる協演が披露され、青森、岩手、秋田の民謡のオンパレード、津軽三味線演奏で心地よい酔いに浸ることができました。

県人会ごとに思い思いの写真撮影を行い、中締めは2024年度幹事となる関西岩手県人会の澤口さんが『開催』と『再会』をアピールする挨拶をしました。(事務局K)



笑顔で記念撮影



中締めの挨拶をする澤口氏

第14回京都清水寺で南部風鈴を愛でる会

清水寺の外国人観光客を魅了する「涼やかな音色」

2023年8月1日(火)～31日(木)

京都清水寺で南部風鈴を愛でる会による「南部風鈴を飾る事業」は今年で14回を数えます。猛暑日が続くなか7月31日(月)の風鈴の飾り付け(田村堂および回廊に風鈴507個)や、8月31日(木)の片付けには県人会からもお手伝いに行きました。

8月1日(火)は午前10時より風鈴奉納法要と風鈴掛け初め式が執り行われました。掛け初め式では岩手県大阪事務所の武藤健一次長の司会の下、8個の風鈴を取り付けました。その後、京都府知事の祝辞、岩手県副知事の挨拶等々があり、祝電披露と記念撮影で無事終了しました。

飾られた風鈴は台風7号の影響を回避するため8月13日(日)に撤去し、16日(水)に再取り付けしました。

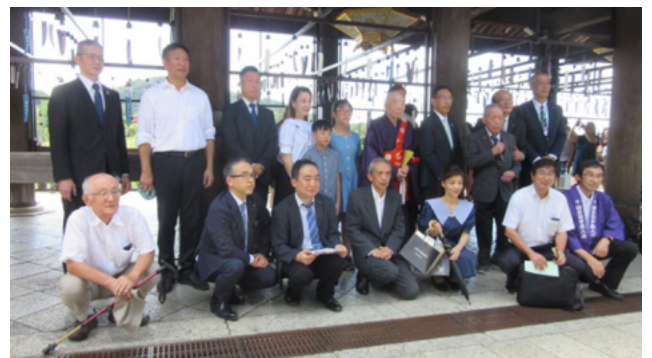
風鈴の短冊には岩手県や京都市の小学生らが願い事を書いています。今年の願いは「戦争の終結」「平和への願い」「家内安全」等がたくさん見受けられました。取り外された短冊は9月24日(日)に清水寺南苑にて「お焚き上げ」されました。

記載された願いが叶えられますことを祈念します。(事務局N)



取付の準備

回廊に風鈴の音色が響きます





法要が行われた「瑞宝の間」で記念撮影

当日は雨模様との予報があり、延暦寺様のご厚意で会場は急遽延暦寺会館1階の「瑞宝の間」に変更された。過去には雨天時は由緒ある大講堂で行われたが、大講堂は別の行事があったため、初めて延暦寺会館が使用された。「瑞宝の間」には仏像が安置されて立派な祭壇があり、畳敷きの大広間には、立派な椅子46名分が十分な間隔を取って並べられていた。受付では(株)中外日報社(宗教新聞)のご厚意で、詩人佐々木幹朗氏による宮沢賢治「原体剣舞連を巡って」が掲載された「9月15日付中外日報」を参列者に配布した。

今年にはコロナ感染症が第5類に引き下げられたことから、マスク着用は個人の判断にゆだねられた。参列者は法要に46名(会員25名)講演会に37名(会員23名)であった。

長澤 直幹事(関西岩手県人会、北水会)の司会で、参列者代表の深田 稔(関西岩手県人会、北水会)の挨拶で始まり、その後読経が続き、途中より参列者全員が焼香した。今回は岩手の「りんどうの花」が間に合わず献花はできなかった。

供養の読経が終了後、北水会(岩手大学農学部)近畿支部会員(8名)による自啓寮寮歌合唱および比叡山高校1年演劇部の大橋千紘さんの詩朗読があり、「雨ニモマケズ」の1句1句をかみしめるようにゆっくりと朗読されたのは見事であった。その後全員で「精神歌」を合唱し賢治さんを偲んだ。

今年も賢治さんおよび清六様の宮沢ご兄弟の他、有縁物故者として、会員の吉田昭雄氏(享年94歳)、13回忌を迎える東日本大震災の犠牲者の供養をお願いした。今回ご遺族の吉田弦様ご夫妻が参列され、会員とともに吉田昭雄氏を偲んだ。氏はコロナ前の平成元年(2019)89歳まで法要に参加されており、最後まで本会に所属し会を支えていただいた。

導師の横山大僧正のご挨拶は、「心象スケッチ」「境界」「無意識」など、いくつかのkeyワードを挙げて賢治さんの人となりを読めるものでした。

午後の記念講演会は小野 浩先生(群馬県立女子大学非常勤講師、元草野心平記念文学館専門学芸員)が、「賢治と心平の交友」の演題で豊富な資料を基に講演された。「りんどう」は遅れて届き、聴講の皆さんにお持ち帰りいただいた。

なお、延暦寺宝物殿では、日本画家の北畠聖龍展(宮沢賢治の祈り)が開催されており、立ち寄られた方もいたようだ。

関西宮沢賢治の会 会長 深田 稔



横山大僧正らによる読経



北水会会員による自啓寮寮歌合唱



「雨ニモマケズ」を朗読する大橋さん



雨のため延暦寺会館で開催



京都清水寺での「阿豆流為・母禮之碑」法要 記念撮影



森貫主・佐々木老師



森美和子様による慰霊の笛

昨年、佐々木老師に「2012年よりご参加頂いております。10周年にあたりますので、来年ご法話をお願いできませんか」とお話ししたら快く受けて頂き、今年のご法話となりました。

老師は奥州市前沢の出身で、三井造船に勤務後、大分市の萬壽寺で出家、現在禅堂を開いております。2012年禅文化研究所第4代理事長に就任して京都に来た折、早朝6時の開門を待って清水寺にお参りし、アテルイ・モレの碑の背面に故郷の胆江同郷会の文字を見つけ、これを機に毎年法要に参加するようになったとのこと。



佐々木道一老師のご法話

大分県は岩手県と同様温泉の多い処で、滝廉太郎の「荒城の月」で有名な岡城は源義経を迎えるために築城された。高崎山の猿はB型が多い(私もだ、との声あり。東北人もB型の人が多い?(私見です))。奥州市出身の大

谷翔平は米国で大活躍しているが、グラウンド上の小石を拾ってポケットに入れるなど彼の注意力、意識の集中力は並外れており、野球ボールも彼の眼にはソフトボールの大きさに見えるのではないかと。今年もMVPを獲得するだろうが、これからはますます活躍するだろう。彼を育てた故郷岩手の精神土壌の豊かさをこれからも大切にしていきたい。死んだらどうなるかと問われることが有るが、冷たくなって金・土・水・風に返るだけだ、その他のことは分からない。むしろ今が命の頂点にあると、今を生きて欲しい(うまく表現できませんが、このような趣旨のご法話でした)。

アテルイ顕彰会の安彦公一会長が碑建設の思い出を語り、その後、懇親会となりました。

会もたけなわとなった頃、佐々木老師が「この辺で森貫主様にもお話を」と水を向けると、懇親会では滅多に話されない森貫主様が壇上に上がり「今年関西ではアレ・アレがフィーバーしたが、この会にはアテルイ・モレとアもレもある。来年も大飛躍の年を迎えることだろう」とウイットのきいたお話会場は大爆笑。老師と貫主の息の合った関係を垣間見た思いでした。 関西アテルイ・モレの会 会長 和賀亮太郎



懇親会にて和賀会長の挨拶

岩手めんこいテレビ関西支社長挨拶

3度目の大阪勤務 岩手の良さをアピール

梨木祐亮



岩手めんこいテレビの梨木祐亮と申します。

昨年7月に、関西支社長として着任いたしました。3度目の大阪勤務となりますので、お見知りおきいただいている方も多いかと存じます。

私は、1965年(昭和40年)生まれの58歳ですが、大阪で生まれ育ちまして、岩手とは岩手めんこいテレビに入るまで縁がありませんでした。

入社して、本社勤務は2度、合わせて16年で、人生の1/4を盛岡で過ごし、盛岡は第2の故郷のような存在となりました。

弊社関西支社は、関西電力本店にほど近い、中之島ダイビル25階にあります。支社員は私も含めて現在3名体制です。他局同様、北陸・中京地区以西の営業活動を行っております。社会活動も活発になってきましたので、弊社も岩手の良さを、関西圏でアピールしていきながら営業活動に邁進していければと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

テレビ岩手大阪支社長挨拶

2度目の大阪で家族と共に輝く時間にしたい

河合耕平



テレビ岩手の河合耕平です。

簡単に自己紹介させていただきますと、私は群馬県館林市出身の46歳です。アナウンサーで入社し、その後本社・東京・大阪・北上で営業部(内外勤)や報道部を経験し、昨年4月、8年ぶり2回目の大阪勤務として赴任しました。

1回目の大阪勤務は、2007年から約6年半在籍し妻とも大阪で出会い、岩手への転勤を機に結婚しました。関西人にとって岩手は未知なる世界で、妻には「結婚して頂いた」との思いで尻に敷かれ…、いえ、お尻の下に入らせて頂きながら過ごしております(笑)

そして昨年、生活の拠点を大阪にと、子供が小学校に上がるタイミングでの赴任を希望し、2回目の大阪生活をスタートさせました。

今回は仕事もプライベートも前回とはひと味違う関西となっています。

仕事はコロナを機に業務が煩雑化し、人と会う時間よりデスク業務が多くなって、よりスピードを求められています。売上減など業界を取り巻く環境も厳しく、弊社の大阪支社も常駐社員2人体制から、昨年1人体制へと変わりました。関西1人体制は全国的にみても数社程度で、営業範囲も名古屋～九州までと広く、想像していた以上に慌ただしい日々ではありますが、責任感をエネルギーに変えて励んでおります。

私生活は独身から家族と過ごす時間になりました。休日には妻、7歳の娘、3歳の息子と、子供たちが喜ぶ遊び場に腰を痛めながら、せつせと出かけています。疲れやすく若さが欲しいと願う毎日ですが、最近子供たちが少し我慢強くなってきたのをこれ幸いにエサをぶらさげつつ、私たちが行きたい場所にも出かけられるようになって、より関西を満喫できています。

あとどれだけ大阪にいられるのか？関西はとっても大好きな場所なので、仕事も家族も大切に大阪で過ごす日々を輝く時間にできればと願っているので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

★★★ スポーツ部会からの報告 ★★★

スポーツ部会 平野良夫

高校野球

〈花巻東、明・暗もごもの1年〉

2022年10月 県大会を優勝して臨んだ昨秋の東北大会は、盛岡大付(県2位)専大北上(同3)同様初戦で敗退し、残念ながら選抜出場は叶わず。

2023年7月 県大会3回戦でタイブレーク勝利(5-2水沢商)と苦戦するも盛三との決勝に勝利(10-0)し、4年振り11回目の夏の甲子園に。

同8月 開会式を翌日に控えた5日、チーム宿泊先に県事務所岩手日報社共々激励訪問したが、最寄駅の新大阪周辺は淀川花火大会で沢山の人が出た。

甲子園初戦の宇部鴻城(山口)戦は安定した試合運びで勝利(4-1)し、2回戦クランク国際(北北海道)は苦戦(2-1)しながらも勝ち抜いた。3回戦は強豪の智辯(奈良)に打ち勝ち(5-2)“8強”に。

特に9回1死まで投げぬいた左腕の2年生投手が、前日に横手投げに変更したとの新聞記事には驚いた。

東北対決(仙台育英)となった準々決勝は前半の8失点が重く、9回に4点入れる健闘も叶わず敗北(4-9)。

尚、4試合通じての県人会関係の観客総数は約100名で、前年優勝の仙台育英戦には40名近い関係者に応援頂きましたこと、誠に有難うございました。



県人会応援団と戦い終わって応援席に挨拶する花巻東



平野副会長と千葉主将

高校女子硬式野球

決勝戦が阪神甲子園球場で行われることもあり脚光を浴びつつある第27回全国大会(史上最多の58校、丹波市、7/22～)。

創部4年目でユース(昨年8月)・選抜(今年3月)と準優勝の花巻東は優勝候補の1校だったが、初戦勝利(4-1熊本国府)するも3回戦で敗退(2-9クラーク国際)し、優勝校(神戸広陵、2年振り3回目)との壁は厚く高かった。

尚、創部3年目の盛岡誠桜は初戦敗退(4-9弘前学院聖愛)し、全国大会初勝利は残念ながら次回以降に。



高校ラグビー(県大会)

10月21日(水)第103回全国高校ラグビーの岩手県大会が雨天の中行われ、黒沢尻工業が4年振り32回目の花園出場(14-7対黒沢尻北)を勝ち取った。昨秋の新人戦は黒工(10-0)、今春の高校総体は黒北(22-12)と接戦を演じた両校だったが花園への切符は黒工が手にし、2年連続での花園予選・決勝敗退(対黒北戦)に雪辱を果たした。

親睦ゴルフ・北東会 36年の歴史に終止符

東北5県(2016年青森県退会)と北海道との親睦を図るべく設立された北東会の第37回が10月11日(水)好天のキングスロードGC(三木市)で行われ、優勝・山形、準優勝・北海道、3位・秋田。競技終了後各道県の責任者にて今後の進め方を話し合った結果、団体戦の5名確保が年々困難になりつつあることや、コロナ禍以降、競技終了後の懇親の場を設けられないことから今回をもって終了となった。

因みに過去の優勝回数は10回(北海道)、8回(岩手)、6回(秋田・山形)で、府知事より賜ったとお聞きした優勝杯は山形預かりに。



2016年当時の岩手からの参加者

※お願いと御礼

北東会は中止となりましたが県人会の春・秋の親睦ゴルフ(桐友会)は継続の予定ですので、ご参加の程宜しく申し上げます。最後に北東会36年の長きに渡りご支援ご協力頂いた皆様に心より御礼を申し上げます。

★★★ 全国高校軟式野球大会 専大北上高校応援記 ★★★

夏の甲子園が終ると、全国高等学校軟式野球選手権大会が兵庫県内の球場で開幕します。もう一つの甲子園と呼ばれていますが、注目度は甲子園に及びません。今回は東東北代表として出場した専大北上高校の奮闘ぶりをご紹介します、是非岩手県の高校が出場した時は応援に行っていただきたいと思えます。



明石トーカロ球場

東東北代表の専大北上高校(2年連続7回目)の初戦は8月24日(木)兵庫代表の報徳学園高校(2年連続4回目、残念ながら廃部となるそうです)と明石トーカロ球場で対戦。明石トーカロ球場は明石駅からすぐの明石公園内にあって球場から明石城の天守台が見えます。

専大北上先攻で初回表に3点を取って優位に試合を進めました。6回表と9回表にも効果的に1点ずつ得点し、先発投手の岡本君は8回まで報徳学園を2安打に抑えて得点を与えず、9回裏は左の平君が0点に抑えて5-0で勝利しました。軟式野球大会には全国から16校しか参加していませんの



で、次は準々決勝です。

8月26日(土)対戦相手は近畿代表の天理高校で、姫路のウインク球場で対戦。どちらもヒットは出るものの好守に阻まれスコアボードにはゼロが並びました。10回からはタイブレークとなり、後攻めの天理が有利ですね。専大北上は送りバントで1アウト2、3塁と得点のチャンスを作りましたが、後続が倒れて得点ならず。天理はその裏、同様に送りバントで1アウト2、3塁とし、やや浅めのセンターフライがあがり、専大北上のセンターが果敢に前進してダイビングするもわずかに及ばず、ゲームセットとなりました。



専大北上の小応援団!?



専大北上は前回の試合同様にノーエラーで、実力は天理と互角でありどちらが勝ってもおかしくない試合をしましたが、それだけに勝たせたかった試合でしたが、天理がわずかに専大北上を運で上回ったのかなと思います。



良く頑張りました!

軟式野球は得点しにくく、監督や選手の頭脳勝負と言われます。専大北上の2試合はともにもいい試合で、軟式野球の魅力を改めて実感しました。専大北上の選手の皆さんと関係者、お疲れさまでした。

(事務局N)

日本各地で、熊の目撃情報が相次いでいる。

岩手、秋田両県では毎日のように人的被害が報道され、死者も出ている。まさに異常事態だ。

熊出没を警告する看板は、里山の入口や登山道でよく見かけるが、今後は市街地にも立つだろう。

私は登山を趣味としているので、もちろん熊対策には注意を払う。熊鈴は鳴らすし、なるべくゆっくり歩く。こちらの気配を熊様に伝え、逃げる時間を与えるためだ。バツリ鉢合わせだけは避けたい。お互いに！

にもかかわらず、33年間の登山歴で、6回ほど熊に遭遇した。確率的にはどうなのだろう。このうち、3回は岩手県内での遭遇だ。

ある時は五葉山の林道で、ある時は北山崎の遊歩道で、またある時は焼石岳の登山道で。いずれのケースも、遭遇したのは比較的若い個体だ。

熊は、視力は劣るが、聴覚と嗅覚は優れている。それゆえ、登山道を歩く人間の気配を察知して、遠くに離れるか、近くで息を殺し、人間の通過を待っている。

だが、若い個体は警戒心が薄い。出くわした熊は、いずれも必死で笹を食べていて、こちらに気づくのが遅れた結果だった。食欲は警戒心を上回るのだ。

熊と出会ったらどうすべきか。巷では識者がいろいろ助言

している。だが、実際には、私は身が固まって何もできなかった。まず、少しずつ後ずさりする。あとは相手が気づいて逃げ出してくれるのを待つ。できたのは、それくらいだ。

それで3回とも事なきを得たのだが、相手の出方しだいでは、怪我や落命という不運も免れない。

ところで、1970年、北海道の日高山脈で3名の大学生が罌に次々と襲われ、死亡した事故がある。逃げる際に、熊に投げ与えたリュックサックを取り戻そうとした行為が悲惨な結果につながった。そういう点で、きわめて特殊なケースとされている

人間が里から山に入る際には、熊はまず襲ってこない。登山者が熊に襲われるケースは極めてまれだ。

危険なのは、山から里に下りてくる熊だ。柿などの餌を求め、必死の覚悟で里へ出る。空腹で機嫌が悪い。そんな個体が、人と出くわしたらどうなるか。

と、ここまで書いてきたところで、函館の大千軒岳で大学生登山者が罌に襲われ死亡したとのニュースが入ってきた。何ということだ。

前言を訂正しよう。前例や常識は通用しなくなってきた。登山者も要注意だ。自戒の念をこめて。



花巻市大迫町 稗貫川畔の柿（2009年12月13日 多賀谷真吾撮影）

今年度(11月31日現在)は11名が新たに入会されました。そのうち、6名の方々からの自己紹介です。
 他5名 柴崎宏さん(仙台市出身)・紺野満さん(住田町出身)・白倉誠也さん(盛岡市出身)
 田村誠朗さん(紫波町出身)・川口久美子さん(一関市出身)

盛岡市出身 矢幅 裕司さん



矢幅裕司、78歳です。盛岡市の出身です。

盛岡市役所に36歳まで勤務、並行して取り組んでいたボランティア活動「世代にかける橋」で、肢体不自由児などの「何故、僕はこの身体で生まれたのですか」との切実な声に答えられず、求め求めて、「人間は永遠の生命である。人間は魂の深化と成長のために自らの願いによって

境遇を選んで生れてくる」と説かれている修行団体GLAに魅了され、職員として飛び込んでもう40年を超え、今は大阪府吹田市にあるGLA近畿会館に勤務しております。

大阪に赴任してもう30年を超えましたが、ここにも岩手県人会があることを知り、岩手を思いながら交流したいと願ったものです。

どうぞ、よろしく御願ひします。

宝塚市出身 藤原 明莉さん

兵庫県出身の藤原明莉と申します。

入会動機は、甲子園で花巻東高校の応援に行った際、県人会の方々には話しかけてもらい、県人会で野球応援をしていることを知ったからです。第100回全国高校野球選手権大会で花巻東高校のプラカードを持った縁で、ずっと応援していました。ですが、岩手県出身の知り合いがいるわけではなかったため、一緒に応援する人がいませんでした。県人会に入会したことで、花巻東高校の応援を岩手県出身の方々と一緒にでき、とても楽しい思い出になりました。

また、来年もこれからも県人会で応援できればと思っています。写真は高校生の時の自分です。



花巻市出身 佐々木 順幸さん



関西岩手県人会の皆様、このたび入会させて頂くことに成りました花巻市出身の佐々木順幸(ささきじゅんこう)71歳です。定年後ふるさとに少しでも関わられたらと思ひ入会を希望した次第です。よろしく御願ひ致します。

経歴を少し紹介させて頂きまずと1952年花巻市で生まれ、小学2年頃まで秋田鹿角市で生活し再度花巻市に戻り高校卒業と同

時に岩手を離れました。

その後大阪に本社のある企業に就職し国内、海外含め転勤を繰り返し大阪で定年を迎えました。

現在は仕事をしていた時から続けているシニアラグビー及びボランティア活動に暇があれば参加しています。シニアラグビーは大阪のチームに所属し月1~2回の練習、試合をして楽しんでいます。ボランティアはマクドナルドハウスの運営に協力する活動をしています。兎に角遊ぶことが大好きで遊ぶ金のために週4日仕事をしているのが現状です。

今後色々なイベントが岩手県人会でも行われていると聞いています。出来るだけ参加して皆様とお会いできるのを楽しみにしています。色々お世話になると思ひますがよろしく御願ひ致します。

北上市出身 高橋 豊文さん

私の故郷は北上線沿線の和賀町で高校へも車で通ひ、友とのふざけ話や、宿題を共にするなど充実した思い出の汽車通でした。



その北上線はじめ今、岩手のローカル線の存続が危ぶまれています。『ローカル線は人間という毛細血管みたいなもので廃止することは人間の生命の危機と同じ』と飲み鉄の六角精児さんもいっています。絶対に残しておきたい故郷の宝です。

その夜汽車に揺られ、『京都慕情』にあこがれ『京都の夜』を過ごすこと早や52年。『思えば遠くへ来たもんだ』

京都岩手県人会発足から40年在籍していますが、この度、岡会員から関西と京都の交流を密にと誘われ“二刀流”入会しました。

気さくな呑み会など楽しみにしています。

花巻市出身 松本 美津子さん



私は1959年花巻で生まれ、幼少期を11人家族という賑やかな環境で育ちました。

今年の夏の甲子園のアルプス席で、県人会の人たちと「んだ、んだ、いいぞ！いいぞ！まげるなよ」と大声を張り上げて高校野球を応援できたことは私にとって本当に幸せな時間でした。

趣味というほどではありませんが、旅がすきです。食べる

ことがすきです。特に日本酒とお蕎麦が大すきです。

大阪に住み28年。岩手から遠く離れたこの土地でこの夏の出会いを期に、これから更に人生が深く豊かになるようなお付き合いをさせていただくことを楽しみにしています。

盛岡市出身 昆野 祥輝さん



私は盛岡で生まれ、小学校6年の時、父の仕事の関係で一関に移った。高校まで岩手にいたが、大学・社会人となって県外に出た。現在はほぼ70歳だが、もう地元の言葉も忘れてしまった。就職は神戸市役所で定年まで勤め、定年後も6年間勤めた。現在、社会保険労務士として事業を営んでいる。

そういう私が何故この会を知ったかという、同じ社労士の中に青森出身の人がいて勧められたからである。自分からここで特に何かをしたいとは思っていませんが、ちょっと今まで封じていたものを、ちょっと開けてみようと思いました。

県人会の先輩の方々、どうかよろしく願いいたします。

県人会の先輩の方々、どうかよろしく願いいたします。

事務局掲示板

会員動静

【2023年11月末日現在】

*総数……………141名

- ・会員……………123名(新入会者11名含む)
- ・職域幹事……………7名
- ・家族会員……………6名
- ・顧問……………5名

*2023年の退会者……8名

【物故者】

- ・村山武雄様 2022. 12. 19ご逝去
- ・和田 浩様 2023. 9. 8ご逝去
- ・小野寺正芳様 2023. 9. 10ご逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

2023年の実施および参加行事など

*役員会・総会

- *1月18日(水)第1回役員会
- *1月29日(日)総会・新春懇親会(スーパードライ梅田にて48名の参加)
- *6月14日(水)第2回役員会
- *12月13日(水)第3回役員会

*鹿踊りの奉納演舞…2月17日(金)京都清水寺にて岩谷堂高校鹿踊り部OB 昼食会に岩手県人会三団体から14名参加

*東日本大震災13回忌法要…3月11日(土)法善寺 9名参列

*合同親睦お花見会…4月1日(土)京都聖護院御殿荘 13名参加

*京都岩手県人会創立40周年記念式典…6月17日(土)清水寺大講堂 菊池会長を含め8名出席

*第12回三県合同納涼ビアパーティ(幹事は近畿秋田県人会)…7月16日(日)スーパードライ梅田 29名参加

*第14回京都清水寺で南部風鈴を愛でる会…7月31日(月)に準備、飾り付けは8月末日まで お手伝いに4名参加

*北水会近畿連合総会・懇親会(岩手大学農学部同窓会)…8月27日(日)道頓堀ホテル 菊池会長出席

*第59回関西官沢賢治忌(賢治忌91回忌)…9月21日(木)比叡山延暦寺 関西官沢賢治の会会員25名参列

*第17回関西アテルイ・モレの会…慰霊祭9月23日(土)枚方市

牧野公園 県人会所属は3名参列

*第37回北東会親睦ゴルフ…10月11日(水)キングスロードGC 4名参加

*第30回阿豆流為・母禮之碑法要および懇親会…11月11日(土)京都清水寺 県人会所属は8名参列

*関西宮城県人会60周年記念懇親会…11月11日(土)リーガロイヤルホテル 平野副会長出席

*一祐会関西支部総会・懇親会(岩手大学理工学部同窓会)…11月11日(土)道頓堀ホテル 事務局2名出席

*三県人会役員合同忘年会…12月5日(火)大阪キャッスルホテル 5名参加

〈高校野球の応援〉

*夏の甲子園・花巻東高校…8月5日(土)宿舎に激励訪問 8日(火)宇部鴻城戦、13日(日)クラーク国際戦、17日(木)智辨学園戦、19日(土)仙台育英戦

*第68回全国軟式高校野球選手権大会・専大北上高校…8月24日(木)明石トーカロ球場 報徳学園戦、26日(土)姫路ウインク球場 天理高校戦

〈会報発行〉

*51号(3月)、52号(6月)、53号(12月)を発行

今後の予定

*第103回全国高校ラグビー選手権大会・黒沢尻工業高校…12月27日(水)～1月7日(日)花園ラグビー場

*第32回全日本高校女子サッカー選手権大会・専大北上高校…12月30日(土)～1月7日(日)兵庫県開催

編集後記

新型コロナウイルス感染症はいつの間にかすっかり「ウィズコロナ」になって、その言葉も見かけなくなりました。

53号に県人会の会員動静を掲載しています。会員情報の変更等ある方は事務局まで必ずご一報ください。常に会員情報を最新にしておきたいと思います。

岩手県関連のイベント等は県人会ホームページの「関西岩手県人会からのお知らせ」「県人会ひろば」に投稿していますので、是非チェックしてください。楽しいイベントやお得な情報もありますよ！

(編集子N)